１．基本情報

自治体名	事業番号	事業名
大熊町	A-3	特産品のイチゴを使ったスイーツ商品による大熊町の魅力発信事業

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計額
総事業費	0	0	0	0	21,696,000	21,696,000

対象事業費区分						
情報発信事業				外部人材活用		施設改修
風評調査	体験企画	情報発信	ポータル	外部人材	語り部	
	○					

２．事業の実施状況サマリー

個別の事業名	開始年度	終了年度	具体的な取組内容の実績
スイーツ商品の開発	令和7年度	令和7年度	生菓子４種、焼き菓子３種
イベント出店での販売	令和7年度	令和7年度	東京都１回、神奈川県１回
店舗フェアによる販売	令和7年度	令和7年度	東京都１回、神奈川県１回

３．アウトプット・アウトカムの達成状況

アウトプット①	生菓子１種類、加工品（焼き菓子）３種類の開発				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	4
実績	－	－	－	－	7

アウトプット②	イベントへの出店				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	2
実績	－	－	－	－	2

アウトプット③	店舗でのフェア実施				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	2
実績	－	－	－	－	2

アウトプット④	スイーツ商品の販売				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	2,500
実績	－	－	－	－	2,600

アウトプット⑤	大熊町産イチゴのサンプリング提供				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	1,000
実績	－	－	－	－	300

アウトカム①	イベントブース来場者数				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	10,000
実績	－	－	－	－	15,400

アウトカム②	販売店舗来場者数				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標	－	－	－	－	1,000
実績	－	－	－	－	2,963

４．風評の払拭に関する目標の達成状況

風評の払拭に関する目標①	設定期間	令和7年度	～	令和7年度	
大熊町産イチゴの情報閲覧数					

目標達成度	従前値	目標値	実績値	実績値の根拠
128%	令和6年度	令和7年度	令和7年度	事業実施報告書
PV	300,000	1,000,000	1,280,000	産経新聞の朝刊発行部数

風評の払拭に関する目標を変更した理由

風評の払拭に関する目標②	設定期間		～		要 変更理由

目標達成度	従前値	目標値	実績値	実績値の根拠
#DIV/0!	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
（単位）				

風評の払拭に関する目標を変更した理由

風評の払拭に関する目標③	設定期間		～		要 変更理由

目標達成度	従前値	目標値	実績値	実績値の根拠
#DIV/0!				
（単位）				

風評の払拭に関する目標を変更した理由

風評の払拭に関する目標④	設定期間		～		要 変更理由

目標達成度	従前値	目標値	実績値	実績値の根拠
#DIV/0!				
（単位）				

風評の払拭に関する目標を変更した理由

５．総合評価

事業実施による評価

本事業の取組により、震災後の大熊町を象徴する特産品であるイチゴについて、とても多くの人の目に留まる機会をつくることとなり、情報のPV数も1.28倍に増加した見込みであることから良い結果を得られることとなった。

特に良かった点として挙げられるのは以下の通り

〇従来出店することすら難しいヨコハマストロベリーフェスティバルへの参加によって、全国のイチゴ好きの消費者に対して大々的な魅力発信をすることができた。また、サンプリング提供用イチゴや開発スイーツの完売が相次ぐ等、大熊町産イチゴが他産地の有名イチゴに引けを取らない商品力があることを実感した。

〇イチゴ好きな人が集まるイベントであったことから、栽培方法等を含めて商品を説明する機会が多く、大熊町におけるイチゴ生産の放射線対策や、震災後からの復興の歩みを交えて説明することができたため、風評払拭に大きく貢献した。

一方で開発したイチゴスイーツについては、OEMまたはBtoB等、大熊町のネクサスファームおおくまと商品化について協議を重ねていった結果、イチゴの産出量等を理由に生産見送りとなってしまい、改めて商品化の難しさを体感することとなった。ただし、イチゴの生産が安定するなど、抱えている課題を解決していくことで生産は可能と考えている。消費者訴求力の高い商品や、付加価値の高い主力土産品となるためこの機会は逃したくないところ。

【その他、本事業による上記以外の成果や効果、実績等】

ヨコハマストロベリーフェスティバルや代々木公園のスイーツフェスティバルで大熊町のイチゴを知った方を、大熊町のイベント等で見かけたことがある。声をかけてみるとイベントをきっかけに大熊町に足を運んでくれたらしく、小さな一歩ながらも成果を実感することができた。

また、本事業をきっかけとして、ネクサスファームおおくまが商品開発のノウハウを学んだことで、自社製品の見直しが検討された。天候不良等が続く昨今、イチゴの収穫量が中々安定しないながらも、現在持っている商品に満足せず魅力ある自社製品を目指す気持ちが醸成されたことを感じている。